

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限(2024年9月18日設定)	
運用方針	楽天・高配当株式・米国マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主に米国の株式を主要投資対象とする上場投資信託証券(ETF)に投資し、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指します。	
主要投資対象	楽天・シュワブ・高配当株式・米国ファンド(四半期決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	楽天・シュワブ・高配当株式・米国ファンド(四半期決算型)	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。投資信託証券(マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外国為替予約取引を行うことができます。外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。デリバティブの直接利用は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。外国為替予約取引を行うことができます。外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。デリバティブの利用は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

運用報告書(全体版)

楽天・シュワブ・高配当株式・ 米国ファンド(四半期決算型) 〈愛称：楽天・SCHD〉

第4期(決算日：2025年11月25日)

第5期(決算日：2026年 2月25日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は表記未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式先物 組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第1 作成期	(設定日)	円	円	%	%	百万円
	2024年 9月18日	10,000	—	—	—	1
第2 作成期	1期(2025年 2月25日)	10,595	85	6.8	3.3	133,104
	2期(2025年 5月26日)	9,231	70	△12.2	2.1	143,147
第3 作成期	3期(2025年 8月25日)	10,301	80	12.5	2.0	172,766
	4期(2025年11月25日)	10,581	85	3.5	2.2	174,508
第5 作成期	5期(2026年 2月25日)	12,329	90	17.4	1.9	212,092

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物組入比率」、「投資信託証券組入比率」は、実質組入比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額		株式先物 組入比率	投資信託証券 組入比率
		騰落率	騰落率		
第4期	(期首)2025年 8月25日	円	%	%	%
	8月末	10,301	—	2.0	98.0
	9月末	10,218	△0.8	2.0	97.9
	10月末	10,180	△1.2	2.1	97.7
	(期末)2025年11月25日	10,381	0.8	2.2	97.7
第5期	(期首)2025年11月25日	10,666	3.5	2.2	97.7
	11月末	10,581	—	2.2	97.7
	12月末	10,761	1.7	2.2	97.8
	2026年 1月末	10,921	3.2	2.2	97.8
	(期末)2026年 2月25日	11,385	7.6	2.0	98.0
		12,419	17.4	1.9	98.1

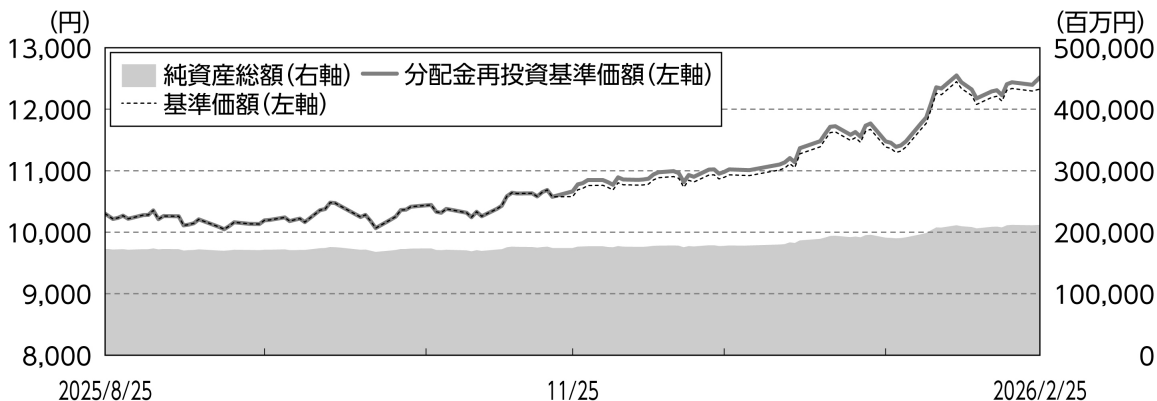
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物組入比率」、「投資信託証券組入比率」は、実質組入比率を記載しています。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第4期首：10,301円

第5期末：12,329円(既払分配金175円)

騰落率：21.5%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは「楽天・高配当株式・米国マザーファンド」受益証券(以下、「マザーファンド」)を通じて米ドル建ての「シュワブ・米国配当株式ETF」(以下、「投資先ETF」)を実質的な主要投資対象とするため、投資先ETFの価格変動および米ドル/円相場の動向が基準価額の主な変動要因となります(マザーファンドを通じて純資産総額の一部を実質的に海外株価指数先物に投資しているため、海外株価指数先物の価格変動の影響も受けます)。

当作成期の基準価額は上昇しました。米国株式市場が概ね堅調に推移したことから、投資先ETFは期初比で上昇しました。また、米ドルが対円で上昇したことも、基準価額の押し上げ要因となりました。

■投資環境

当作成期の米国株式市場は、前作成期末比で上昇しました。米国の関税政策を受けた貿易摩擦や景気鈍化への警戒感が徐々に後退したことや、AI(人工知能)関連市場の拡大期待、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ観測などを背景に、米国株式市場は概ね堅調な推移となりました。2025年11月から12月にかけては、AI関連市場の過熱感への警戒などから一時的に売り圧力が強まる局面はあったものの、全体としては上昇基調を保ちました。また、2026年年明け以降は、地政学リスクの高まりやAIの台頭による既存ビジネスへの影響などが懸念され、米国株式市場全体は上値の重い展開となった一方、高配当株を含むバリュー株は期末にかけて堅調な展開となりました。

当作成期の米ドル/円相場は、米ドル高/円安となりました。米国の関税政策を巡る不透明感などを背景に、日本銀行による金融政策の正常化が遅れるとの見方が広がったほか、自民党総裁選にて積極財政や金融緩和を志向する高市氏が選出され、その後総理大臣に就任したことを受けて、円は売られやすい展開が続きました。2026年に入ると、為替介入への警戒感や日本の衆院解散総選挙などを背景に、米ドル/円は方向感に欠けるなかで一進一退の展開となりましたが、前作成期末比で米ドル高/円安が進行して期末を迎えました。

■当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、マザーファンドへの投資を通じて、投資先ETFの組入比率を高位に維持しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第4期		第5期	
	2025年8月26日～2025年11月25日		2025年11月26日～2026年2月25日	
当期分配金 (円)	85		90	
(対基準価額比率) (%)	(0.797)		(0.725)	
当期の収益 (円)	85		90	
当期の収益以外 (円)	—		—	
翌期繰越分配対象額 (円)	580		2,329	

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

引き続きマザーファンドを通じて、投資先ETFの組入比率を高位に維持し、一部を株価指数先物に投資する運用を行います。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2025年8月26日～2026年2月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	7円	0.062%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,641円です。
(投信会社)	(5)	(0.042)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(1)	(0.009)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) その他費用	1	0.006	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.001)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券 等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る 費用
(印刷費用)	(0)	(0.000)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等 の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その 他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	8	0.068	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

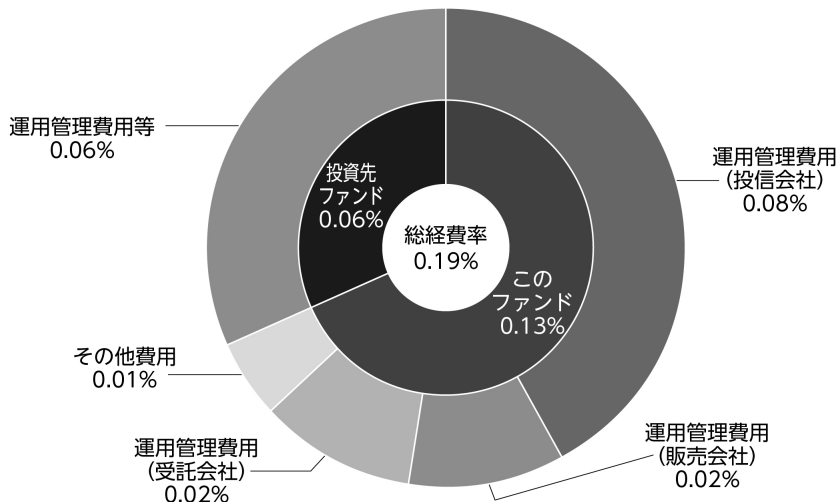
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.19%です。



総経費率 (①+②)	0.19%
①このファンドの費用の比率	0.13%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.06%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注9) 当該比率には、投資対象とする投資信託証券にかかる年0.06%程度の報酬が反映されていますが、委託会社が合理的に見積った当該報酬相当額をファンドに別途充当しています。

売買および取引の状況

■親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
楽天・高配当株式・米国マザーファンド	13,958,486	15,993,360	12,470,868	13,418,362

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■親投資信託残高

	前作成期末	当 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
楽天・高配当株式・米国マザーファンド	164,843,137	166,330,756	213,502,159

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の当作成期末現在の受益権口数は、166,330,756千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
楽天・高配当株式・米国マザーファンド	213,502,159	99.8
短期金融資産、その他	326,730	0.2
投資信託財産総額	213,828,889	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 楽天・高配当株式・米国マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建資産(213,417,319千円)の投資信託財産総額(213,502,967千円)に対する比率は、100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=155.83円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年11月25日)、 (2026年2月25日)現在

項 目	第4期末	第5期末
(A) 資産	176,389,024,969円	213,828,889,801円
コーポレートローン等	367,792,204	298,733,743
楽天・高配当株式・米国マザーファンド(評価額)	175,800,349,668	213,502,159,139
未収入金	195,387,000	—
未収入利息	3,526	4,910
その他未収入	25,492,571	27,992,009
(B) 負債	1,880,893,970	1,736,760,336
未払収益分配金	1,401,871,266	1,548,220,766
未払解約金	421,548,255	125,875,311
未払信託報酬	53,761,789	58,951,431
その他未払費用	3,712,660	3,712,828
(C) 純資産総額(A-B)	174,508,130,999	212,092,129,465
元本	164,926,031,377	172,024,529,585
次期繰越損益金	9,582,099,622	40,067,599,880
(D) 受益権総口数	164,926,031,377口	172,024,529,585口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,581円	12,329円

(注) 期首元本額は167,713,900,967円、第4～5期中追加設定元本額は35,338,157,634円、第4～5期中一部解約元本額は31,027,529,016円です。

■損益の状況

第4期(自2025年 8月26日 至2025年11月25日)

第5期(自2025年11月26日 至2026年 2月25日)

項 目	第4期	第5期
(A) 配当等収益	25,938,405円	28,383,450円
受取利息	445,834	670,944
その他収益	25,492,571	27,712,506
(B) 有価証券売買損益	6,055,186,560	30,215,301,930
売買益	6,283,632,180	30,834,128,695
売買損	△228,445,620	△618,826,765
(C) 信託報酬等	△57,474,449	△62,664,259
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,023,650,516	30,181,021,121
(E) 前期繰越損益金	△2,205,449,721	2,233,849,861
(F) 追加信託差損益金	7,165,770,093	9,200,949,664
(配当等相当額)	(134,128,784)	(476,954,050)
(売買損益相当額)	(7,031,641,309)	(8,723,995,614)
(G) 計(D+E+F)	10,983,970,888	41,615,820,646
(H) 収益分配金	△1,401,871,266	△1,548,220,766
次期繰越損益金(G+H)	9,582,099,622	40,067,599,880
追加信託差損益金	7,165,770,093	9,200,949,664
(配当等相当額)	(182,094,874)	(532,151,948)
(売買損益相当額)	(6,983,675,219)	(8,668,797,716)
分配準備積立金	2,416,329,529	30,866,650,216

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜分配金の計算過程＞

項 目	第4期	第5期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	1,466,991,919円	1,614,598,521円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	2,311,552,358円	28,566,422,600円
(C) 収益調整金額	7,165,770,093円	9,200,949,664円
(D) 分配準備積立金額	39,656,518円	2,233,849,861円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	10,983,970,888円	41,615,820,646円
(F) 期末残存口数	164,926,031,377口	172,024,529,585口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E/F×10,000)	665.97円	2,419.15円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	85円	90円
(I) 収益分配金金額 (F×H/10,000)	1,401,871,266円	1,548,220,766円

分配金のお知らせ

	第4期	第5期
1万口当たり分配金	85円	90円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

楽天・高配当株式・米国マザーファンド

第1期(2025年8月25日)

《運用報告書》

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限(2024年9月18日設定)
運用方針	米国の株式を実質的な主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
主な投資対象	上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 外国為替予約取引を行うことができます。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。 デリバティブの利用は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

当マザーファンドはこのたび上記決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

東京都港区南青山二丁目6番21号

URL : <https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率			
(設定日) 2024年9月18日	10,000	—	—	—	百万円 0
1期(2025年8月25日)	10,557	5.6	2.0	97.3	174,033

(注1) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注3) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率		
(設定日) 2024年 9月18日	10,000	—	—	—
9月末	10,166	1.7	—	93.2
10月末	10,795	8.0	9.0	94.7
11月末	11,076	10.8	5.6	94.4
12月末	10,947	9.5	4.4	96.7
2025年 1月末	10,897	9.0	4.5	96.0
2月末	10,615	6.2	3.3	96.9
3月末	10,458	4.6	2.3	98.0
4月末	9,368	△6.3	2.1	98.4
5月末	9,568	△4.3	2.1	98.0
6月末	9,794	△2.1	2.1	98.0
7月末	10,276	2.8	2.7	97.3
(期末) 2025年 8月25日	10,557	5.6	2.0	97.3

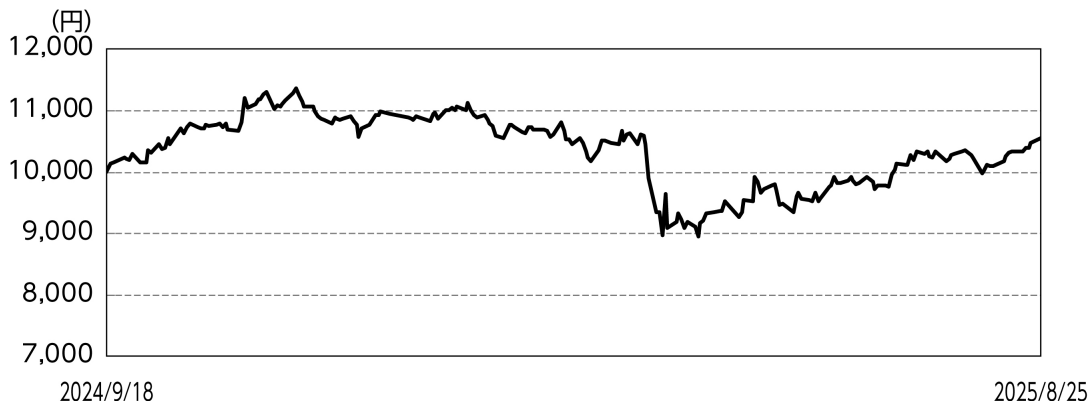
(注1) 騰落率は設定日比。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) 設定日の基準価額には当初設定価額を用いています。

当期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



(注) 設定日の基準価額には当初設定価額を用いています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは米ドル建ての「シュワブ・米国配当株式ETF」(以下、「投資先ETF」)を主要投資対象とするため、投資先ETFの価格変動および米ドル/円相場の動向が基準価額の主な変動要因となります。また、純資産総額の一部を海外株価指数先物に投資しているため、海外株価指数先物の価格変動の影響も受けます。

当期の基準価額は上昇しました。米国株式市場が下落後持ち直して堅調に推移するなか、投資先ETFが設定日比で小幅に上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇し、基準価額を押し上げました。

■ 投資環境

当期の米国株式市場は上昇しました。期前半は、米国経済のソフトランディング(軟着陸)期待や好調な企業決算、AI(人工知能)関連投資の拡大を背景に堅調に推移しました。特に、トランプ政権による減税や規制緩和への期待が投資家心理を支え、主要株価指数は過去最高値を更新しました。一方で、2024年12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)での利下げ実施後、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加利下げに慎重な姿勢を示したことから、金利高止まりへの懸念が強まり、2025年初頭にかけて上値の重い展開となりました。4月上旬には、トランプ政権が想定を上回る相互関税を発表し、これに対する中国の報復関税も相まって株価が大きく調整する局面があったものの、その後、米国の経済指標や企業決算が底堅さを維持したことに加え、トランプ政権が最終的には強硬的な政策姿勢を和らげるとの期待などを背景に株価は持ち直し、設定日比で上昇した水準で期末を迎えました。

当期の米ドル/円相場は設定日比で米ドル高/円安となりました。期初は1米ドル=141円前後でスタートし、その後2025年初頭にかけては、自民党総裁選や衆議院選をめぐる不透明感、日本銀行による追加利上げ観測の後退、さらに米長期金利の上昇などを背景に、1米ドル=158円台まで大幅な円安となりました。しかしその後トランプ政権の関税政策を巡る不透明感などから、米ドル建て資産を回避する動きが投資家の間で強まり、安全資産としての需要から円が買われやすい状況となり、4月下旬にかけては一時1米ドル=140円を下回る水準まで米ドル安/円高が進行しました。その後は、米関税政策を巡る懸念が一巡し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだほか、日本銀行が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことなどから、米ドル安/円高基調は一服し、1米ドル=147円台で期末を迎えました。

■当ファンドのポートフォリオ

投資先ETFの組入比率を高位に維持しました。また、資金の流出入に伴う柔軟なポジションの調整や株式市場に対するエクスポージャーの確保を目的に、株価指数先物を組み入れました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■今後の運用方針

引き続き、投資先ETFの組入比率を高位に維持し、一部を株価指数先物に投資する運用を行います。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	0円 (0) (0)	0.000% (0.000) (0.000)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.002 (0.002) (0.000)
合計	0	0.002
期中の平均基準価額は10,360円です。		

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については4ページ(1万口当たりの費用の明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

売買および取引の状況

■投資信託証券

			当 期			
			買 付		売 付	
			単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
外 国	アメリカ	シュワブ・米国配当株式ETF	千口 38,671 (2,804)	千米ドル 1,152,745 (-)	千口 406	千米ドル 10,770
		小 計	38,671 (2,804)	1,152,745 (-)	406	10,770

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■先物取引の種類別取引状況

種 類 別			当 期			
			買 建		売 建	
			新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株 式 先 物 取 引	百万円 17,232	百万円 13,674	百万円 -	百万円 -	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

組入資産の明細

■外国投資信託証券

銘 柄		単位数又は口数	当 期 末	
			評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
アメリカ	シュワブ・米国配当株式ETF	千口 41,069	千米ドル 1,147,885	千円 169,255,656
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	41,069 1	1,147,885 -	169,255,656 <97.3%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率です。

(注3) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。

■先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外 国		百万円	百万円
	株式先物取引		
	DJIA MINI e	3,471	-

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 169,255,656	% 97.2
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	4,803,376	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	174,059,032	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(173,974,239千円)の投資信託財産総額(174,059,032千円)に対する比率は、100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=147.45円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年8月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	175,430,825,206円
コール・ローン等	3,176,874,935
投資信託受益証券(評価額)	169,255,656,564
未 収 入 金	1,773,178,275
未 収 利 息	811
差 入 委 託 証 拠 金	1,225,114,621
(B) 負 債	1,397,824,701
未 払 金	1,371,953,701
未 払 解 約 金	25,871,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	174,033,000,505
元 本	164,843,137,966
次 期 繰 越 損 益 金	9,189,862,539
(D) 受 益 権 総 口 数	164,843,137,966口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,557円

- (注1) 設定元本額 990,000円
 期中追加設定元本額 166,456,213,756円
 期中一部解約元本額 1,614,065,790円
- (注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 楽天・シュワブ・高配当株式・米国ファンド(四半期決算型)
 164,843,137,966円

■損益の状況

(自2024年9月18日 至2025年8月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,174,557,796円
受 取 配 当 金	3,134,754,993
受 取 利 息	14,900,026
そ の 他 収 益 金	24,902,777
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,331,475,824
売 買 益	1,152,351,424
売 買 損	△4,483,827,248
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	121,699,878
取 引 益	367,015,097
取 引 損	△245,315,219
(D) そ の 他 費 用	△2,361,345
(E) 当 期 損 益 金 (A+B+C+D)	△37,579,495
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,233,469,244
(G) 解 約 差 損 益 金	△6,027,210
(H) 計 (E+F+G)	9,189,862,539
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	9,189,862,539

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益及び(C)先物取引等取引損益は期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款へ所要の変更を行いました。

(約款変更実施日：2025年4月1日)

■組入ファンドの概要

以下は、『楽天・高配当株式・米国マザーファンド』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当期末において入手できる直近の情報を掲げております。

ファンド名	決算日
シュワブ・米国配当株式ETF	2024年8月31日

シュワブ・米国配当株式ETF

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

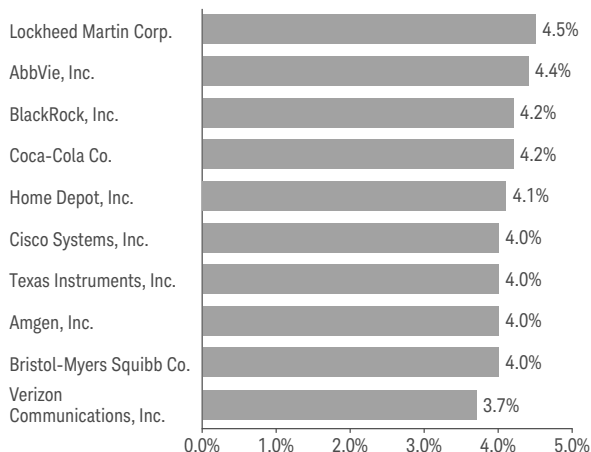
運用会社	チャールズ・シュワブ・インベストメント・マネジメント・インク
主要投資対象	米国株式
運用の基本方針	ダウ・ジョーンズ US ディビデンド100 インデックスに連動する投資成果を目指す
管理報酬等(年)	0.06% ^(※)

※投資対象ファンドにおいて年0.06%程度の報酬が日々控除されますが、委託会社が合理的に見積った当該報酬相当額をファンドに充当します。

For the period September 1, 2023 through August 31, 2024

INVESTMENT INCOME	
Dividends received from securities - unaffiliated issuers (net of foreign withholding tax of \$87,033)	\$2,028,589,600
Other Interest	461,922
Securities on loan, net	+ 34,466
Total investment income	2,029,085,988
EXPENSES	
Management fees	31,893,383
Total expenses	- 31,893,383
Net investment income	1,997,192,605
REALIZED AND UNREALIZED GAINS (LOSSES)	
Net realized losses on sales of securities - unaffiliated issuers	(1,365,292,100)
Net realized gains on sales of in-kind redemptions - unaffiliated issuers	4,091,282,920
Net realized gains on futures contracts	+ 16,008,429
Net realized gains	2,741,999,249
Net change in unrealized appreciation (depreciation) on securities - unaffiliated issuers	4,153,701,924
Net change in unrealized appreciation (depreciation) on futures contracts	+ 3,288,382
Net change in unrealized appreciation (depreciation)	+ 4,156,990,306
Net realized and unrealized gains	6,898,989,555
Increase in net assets resulting from operations	\$8,896,182,160

TOP EQUITY HOLDINGS % OF NET ASSETS⁴



Portfolio holdings may have changed since the report date.

An index is a statistical composite of a specified financial market or sector. Unlike the fund, an index does not actually hold a portfolio of securities and its return is not inclusive of trading and management costs incurred by the fund.

⁴ This list is not a recommendation of any security by the investment adviser.